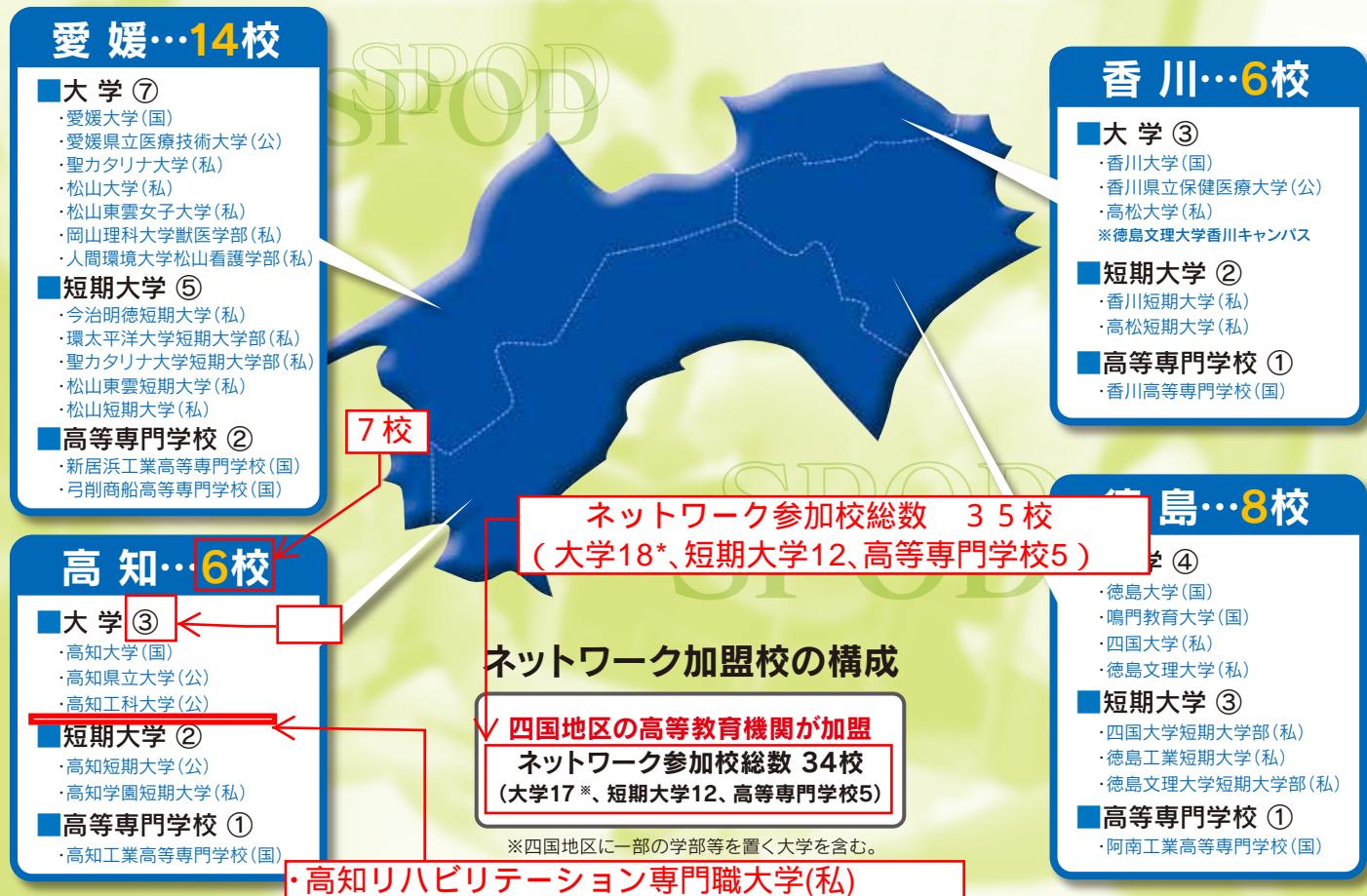


四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(ネットワーク略称 **SPOD**=Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education)

学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった 高等教育のプロフェッショナルの輩出



SPODの概要

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区の34の国公立大学・短期大学(四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。)及び高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的連携支援事業の採択を機に設立されました。本事業は平成22年度で補助金交付が終了しましたが、平成23年度から各加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組が継続されています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しています。4県に位置するネットワークコア校を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)のプログラムやサービスを提供しています。

取組内容

FD・SD共通

- 35の国公立大学の開催
- 1 コンサルティング・講師派遣事業
 - 2 FD・SDに関する調査研究
 - 3 情報提供サービス

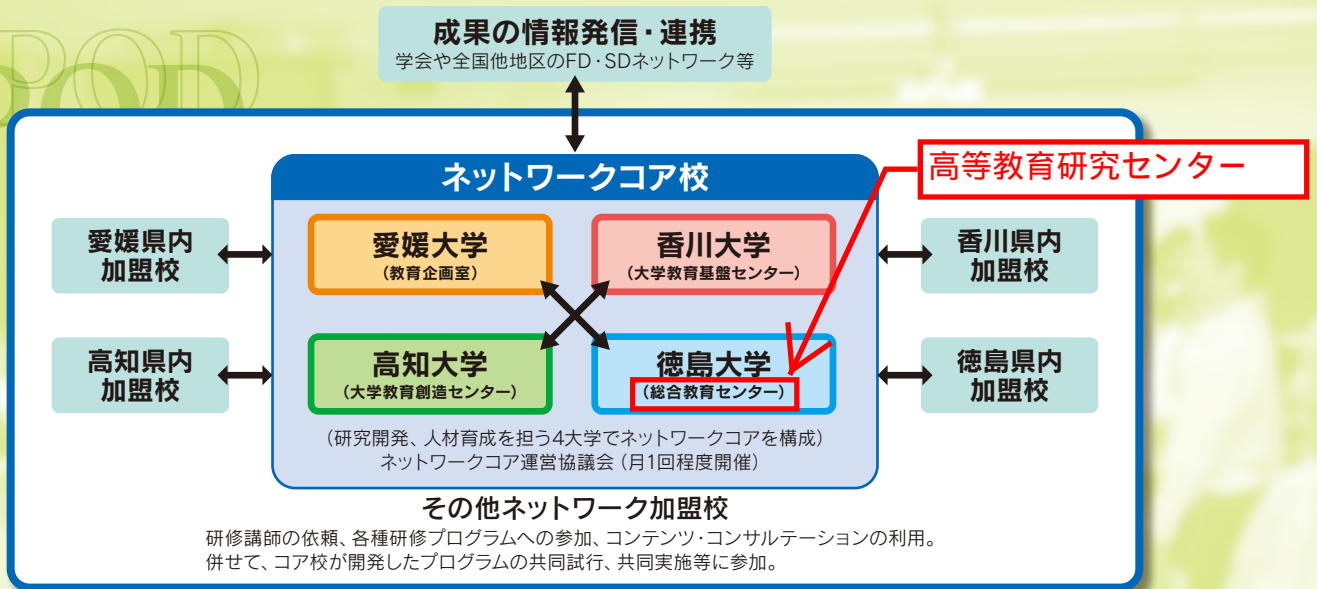
FD

- 1 FD担当者の養成
- 2 新任教員研修の実施、公開
- 3 ティーチング・ポートフォリオ研修の実施
- 4 各加盟校におけるプログラムの公開

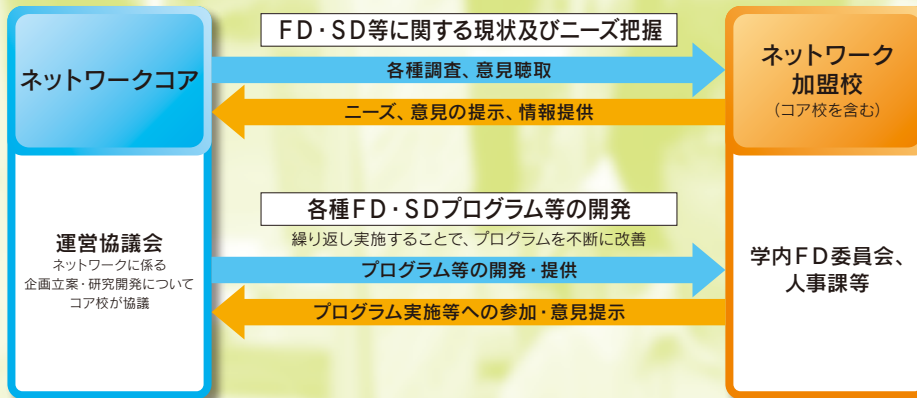
SD

- 1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- 2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- 3 講師養成によるSDの継続的な実施
- 4 SPOD-SDCの輩出

ネットワーク運営体制



① ネットワークコア、加盟校間での連携

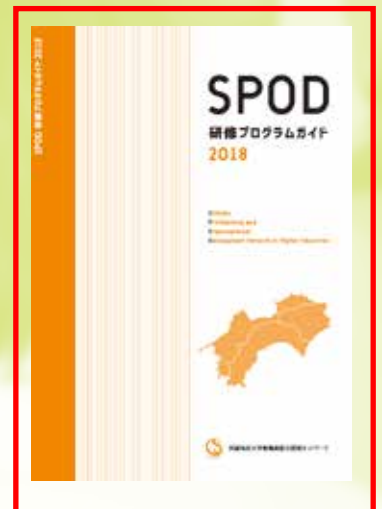


② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、遠隔会議システム等を活用した情報交換等

実績・成果

- **集中日程によるFD・SDフォーラム** 2009 (参加者延べ約1,300名)、2012 (参加者延べ約1,400名)、2013 (参加者延べ約1,540名)、2014 (参加者延べ約1,300名)、2015 (参加者延べ約1,500名)、2016 (参加者延べ約1,470名)、2017 (参加者延べ約1,430名)を開催。フォーラム**2017**では参加者の97%から有意義又は満足との高い評価を得ている。
2018 (参加者延べ数約1,590名)
- **多種多様な研修プログラムの実施**
加盟校が参加可能なFD・SDプログラムを網羅的に掲載した統一ガイドブック「研修プログラムガイド」を作成・配付することにより、**平成29年度**は延べ2,400名以上の教職員が参加した。
- **FDプログラムの標準化**
ネットワークコア校において、ほぼ共通の目標、**平成30年度**教職員研修を実施している。どのコア校の研修に参加しても同様の効果を得ることができる。
- **教職員によるSDプログラムの開発・実施**
教職員が、大学、短期大学、高等専門学校とのニーズを取り入れたSDマップを教職協働で完成させ、マップに基づき開発した研修プログラムを実施している。SD研修プログラムを担当できる職員(講師養成)を育成するための研修も実施し、SPODで講師を務めている。



- 小規模校が単独で開催することが難しい研修を実施
- FD・SDに関する最新の話題、課題、考え方などの情報の共有が可能

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要

- 1 日時：平成31年3月22日（金）13：34～14：37
- 2 場所：高知工業高等専門学校 管理棟2階 中会議室
- 3 出席者：（監事）高知工業高等専門学校 濱中俊一 校長
（対応者）愛媛大学 小林直人企画・実施統括者，
織田隆司教育企画課長，五貫恵美教育企画チームリーダー

会計監査に先立ち、監査方法及び事項の確認を行った。

続いて、小林企画・実施統括者から、平成30年度SPOD事業の概略について説明を行った。

4 監査事項

(1) 平成30年度予算執行状況について

① 経費の支出が適切な体制で行われているか。

SPOD事務局から、SPODにおける事業経費の会計処理について説明を行った。

SPODにおける事業経費の会計処理については、共同事業契約書第11条第1項に基づき、愛媛大学の会計規則に基づいて処理を行っている。会計処理手続きとしては、SPOD事務局担当者（教育企画課教育企画チーム）からの依頼により、会計担当者（教育企画課総務チーム）を経由して、財務部経理調達課が最終的に会計処理の適正確認を行ってから支払いの手続きが行われている旨の説明を行い、適切な体制で経費の支出が行われていることの確認が行われ、了承された。

② 適切に経費が支出されているか（講師の選び方、委託業者の選定等）

SPOD事務局から、各研修等の講師の選定方法等について説明を行った。

研修では、高等教育に関する第一人者、当該分野の専門家の方を講師に依頼している。また、講師の選定に当たっては、研修の趣旨・目的、内容等を踏まえ、講師としてふさわしい経歴、実績があるかなどを検討した上で決定している旨の説明を行い、了承された。

③ 事業計画と支出の整合性がとれているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業経費について説明した。なお、予算執行見込みを考慮し、コア運営協議会で審議、了承の上、教職員の能力開発や講師内製化のための能力開発費、SPOD各コア校で共通して使用するテキスト購入費並びにSPODホームページのSPODフォーラム関連ページ及びSPODフォーラム受付システムの改修費を支出した旨の説明を行い、了承された。

④ 経費削減可能な支出はないか。

SPOD事務局から、研修プログラムガイドの冊子体からリーフレット版への変更や、各種研修実施時の共用車へ乗り合わせての移動など、経費削減に努めている旨の説明を行い、了承された。

(2) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について

小林企画・実施統括者から、前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について説明を行い、改善状況の確認が行われ、了承された。

(3) 事業実施状況について

① 事業計画どおりに事業が進捗しているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業の実施状況について説明を行い、順調に事業が進んでいることの確認が行われ、了承された。

② 代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

SPOD事務局から、事業の実施体制についての説明を行い、代表校を含め、各コア校においてFD/SD担当者が中心となって各種プログラムの企画実施に取り組んでおり、事業が適切な体制で行われていることの確認が行われ、了承された。

(4) その他

濱中監事より、高等教育機関の発展には幅広い視点が必要であるため、管理職への登用を含め、女性がより一層活躍できる職場になるよう、SPODにおいても働きかけを行っていただきたい旨の発言があった。また、今後はトップリーダーをどう育成していくかが鍵となるため、高等専門学校としても、SPODフォーラムで開催する「トップリーダーセミナー」を始めとしたSPOD内の各種研修プログラムを積極的に活用していきたい旨の発言があった。

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要

- 1 日 時：平成31年3月28日（木）10：30～11：40
- 2 場 所：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミュージズ3階 ミーティングルーム
- 3 出席者：（監 事）徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部 田村禎通 学長
（対応者）愛媛大学 小林直人企画・実施統括者，
教育企画課教育企画チーム五貫恵美チームリーダー，小林絃子部員

会計監査に先立ち、監査方法及び事項の確認を行った。

続いて、小林企画・実施統括者から、平成30年度SPOD事業の概略について説明を行った。

4 監査事項

(1) 平成30年度予算執行状況について

① 経費の支出が適切な体制で行われているか。

SPOD事務局から、SPODにおける事業経費の会計処理について説明を行った。

SPODにおける事業経費の会計処理については、共同事業契約書第11条第1項に基づき、愛媛大学の会計規則に基づいて処理を行っている。会計処理手続きとしては、SPOD事務局担当者（教育企画課教育企画チーム）からの依頼により、会計担当者（教育企画課総務チーム）を経由して、財務部経理調達課が最終的に会計処理の適正確認を行ってから支払いの手続きが行われている旨の説明を行い、適切な体制で経費の支出が行われていることの確認が行われ、了承された。

② 適切に経費が支出されているか（講師の選び方、委託業者の選定等）

SPOD事務局から、各研修等の講師の選定方法等について説明を行った。

研修では、高等教育に関する第一人者、当該分野の専門家の方を講師に依頼している。また、講師の選定に当たっては、研修の趣旨・目的、内容等を踏まえ、講師としてふさわしい経歴、実績があるかなどを検討した上で決定している旨の説明を行い、了承された。

③ 事業計画と支出の整合性がとれているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業経費について説明した。なお、予算執行見込みを考慮し、コア運営協議会で審議、了承の上、教職員の能力開発や講師内製化のための能力開発費、SPOD各コア校で共通して使用するテキスト購入費並びにSPODホームページのSPODフォーラム関連ページ及びSPODフォーラム受付システムの改修費を支出した旨の説明を行い、了承された。

④ 経費削減可能な支出はないか。

SPOD事務局から、研修プログラムガイドの冊子体からリーフレット版への変更や、各種研修実施時の共用車へ乗り合わせての移動など、経費削減に努めている旨の説明を行い、了承された。

(2) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について

小林企画・実施統括者から、前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について説明を行い、改善状況の確認が行われ、了承された。

(3) 事業実施状況について

① 事業計画どおりに事業が進捗しているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業の実施状況について説明を行い、順調に事業が進んでいることの確認が行われ、了承された。

② 代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

SPOD事務局から、事業の実施体制についての説明を行い、代表校を含め、各コア校においてFD/S D担当者が中心となって各種プログラムの企画実施に取り組んでおり、事業が適切な体制で行われていることの確認が行われ、了承された。

(4) その他

田村監事より、大学設置基準の一部改正への対応として、SPODフォーラム等においてFD・SDの表記を行わないこととしたが、そのことにより対象者が分かりづらくなっていないかについての確認があり、現時点では事後アンケートでそのような傾向は見られないが、シラバス等に対象者を具体的に表記するなどの工夫を引き続き行っていくこととした。